



北見ロータリークラブ週報

●創立/1937年9月30日 ●事務所/北二条ビル 3階 302号 ☎25-2824 ●例会日/毎週水曜日 ●例会場所/ホテル黒部

HPアドレス <http://www.kitamirc.jp>

第 3301 回例会・2020 年 8 月 5 日

本日のプログラム

「納涼夜間例会」

2020～2021年度国際ロータリーテーマ

『ロータリーは機会の扉を開く』

R.I. 会長 ホルガー・クナーク

第 3300 回例会（7月 22 日）の記録

司会 松島親睦活動委員長

ロータリーソング 四つのテスト

会長挨拶 岡村会長

今日は皆さんのレターボックスに年次活動計画書が入っていたと思います。やっとお渡し出来るタイミングになりました。私の方針もそうですが、各委員会の1年間の計画等も入っておりますので、是非ご一読頂いて確認頂ければなという風に思います。

さて、最近話題になっているあの『ネオワイズ彗星』のネタを皆さんご存知でしょうか。彗星の名前というのは発見者の名前がつくのですが、ネオワイズ彗星はネオワイズさんではなく、衛星上にあります NEOWISE という赤外線探査衛星がたまたま見つけたという彗星がとても大きくなり、十数年ぶりの肉眼彗星という話になっております。多分1996年の百武彗星とかヘル・ポップ彗星、2006年のマックノート彗星以来の巨大な彗星という事で、多分その界限では随分と話題になっております。大体今ですと、夕方8時頃、北西の空に北斗七星があり、その下に三等星で輝いておりますので、明るいと云っても三等星です。夜の街では見えません。是非、少し暗い天の川が見えるかなというような場所に行ってくださいと肉眼で見えますので、ご覧になられてはと思います。

さてこの彗星には面白いネタがありまして、実は有名になった彗星はどんどん尻すぼみになるという話があり、この手の彗星は大体報道されると、その前に蒸発や分解等で殆ど観測出来ません。昔ハレー彗星というのがあったと思いますが見た方はいらっしやらないのではないかと思います。条件が悪く、名前の割には殆ど何も見えなかったのです。そんなこんなで、実は報道されると殆ど彗星というのは尻すぼみになって何も見えなくなるという、マーフィーの法則みたいなものが出ております。ただ、今回のネオワイズ彗星は殆ど報道されていないので、お陰で大彗星になったという事で、これから先、道新さんもNHKさんも彗星のネタに関してはそっとしておいて欲しいなと思います。という事で、たまには夜の街ではなく、暗い夜空を眺めてみてはと思ひまして少しお話をさせて頂きました。

幹事報告 小池幹事

1. 年次活動報告書がレターボックスに入っておりますのでご確認ください。
2. 東RCさんの新入会員が増えましたので、シールの方を最後の空欄に貼って頂ければ会員名簿が完成しますので宜しくお願い致します。
3. 地区協議会の報告書がレターボックスに入っております。ご登録頂いた方はこちらの方をご確認下さい。
4. 留迎薬RCの事務局員さんが変わりましたが電話番号等は変わりませんので、メーキャップ等の用事がある時はそのままお電話頂ければ繋がるようになっております。

委員会報告

坂井ロータリー情報委員長

レターボックスに新入会員オリエンテーションのご案内をさせて頂きました。昨年はコロナ禍によりまして中止となり、総勢出席対象者21名となっております。8月26日(水)18時30分、ホテル黒部、会費2,000円でございます。ロータリーの歴史や本質を知ること、活動計画書を読んで頂いたら、歴史や活動のそれぞれの委員会の事等が出ております。また、オリエンテーションの時には「今日からロータリアン」という冊子をお配り致しますので、この2冊があれば北見RCでは生きていけるという風に思います。ロータリーはやはり楽しい場であれば駄目だと思っております、このオリエンテーションに出ると尚一層ロータリーが楽しくなるという事でございますので、是非とも参加の方お願いしたいのと、加えてどうしてももう一度出てみたいという方は坂井の方まで言って頂ければという事でございます。締切は8月19日(水)まで事務局へFAXでお願い致します。

プログラム

新入会員卓話 「私の趣味」

日本放送協会北見放送局 局長 川上 明人 会員

コロナ禍の影響で私ども番組制作の中断や営業活動の自粛等、厳しい経営環境に直面しております。引き続き、皆さまのご理解・

「ランクアップしましょう」

地区ガバナー 松田 英郎



ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

私の趣味は登山です。学生時代に始めました。何か身体を鍛えることがしたいと思って山岳会に入りました。ロッククライミングにも挑戦しましたが、頭の中では憧れても怖くて体がついていかなかった。だから縦走専門に取り組みました。登山家の石川直樹さんによれば、「壁によじ登るクライミング的な要素がなければ、基本的には日本全国どこでもハイキングのようなもの」なんだそうです。それでもめげずに縦走登山を続けました。南アルプスはとても懐の深い山域です。これは北岳と塩見岳の頂上です。また大学3年時に挑戦したのは北アルプス縦断です。上高地から入山して槍ヶ岳から黒部方面へ。後立山連峰を北上して日本海に出る大縦走。歩く、歩く、ひたすら歩く……。様々なトラブルを解決しながらメンバー全員が無事に親不知に到着した時はホッとしたことを覚えています。冬山は楽しかったです。大変ですが、逆に岩石やハイマツが雪に覆われて直線コースを最短距離で歩けます。印象深かったのは大学3年春の鹿島槍ヶ岳です。東尾根というスリリングなルート、同期3人で登りました。岩稜地帯のトラバース。谷側に深く切れていて今見ると結構、怖いですね。これも確かに急斜面ですね。頂上での記念写真は「どや顔」ですね。危険や苦勞を乗り越えた達成感、自然との一体感、色々な感情がまじりあって気分が高揚したのを覚えています。稜線の斜面に雪洞を掘りました。風の音を吸取るので静かでしかも温かく、テントよりも快適でした。年間100日間くらい入山する年もあって登山に明け暮れた学生生活でした。

大学卒業後、初任地の長野と松本で6年間を過ごしました。登山との接点は、警察の山岳救助隊や山小屋の人たちとの付き合い。救助現場のエピソードを聞いたり、一緒に山菜採りやキノコ取りに行ったりしたことを思い出します。以後は登山との関わりは一切なし。長らく何の運動もしなかった怠け者の私が、登山を復活させたきっかけは50歳を過ぎて体力の衰えを痛感したことです。最近、登った山を紹介します。(月山・鳥海山・飯豊山・西吾妻山等を紹介)。

さて北海道です。去年8月末に挑戦した斜里岳。水量が多くてシャワークライミングでした。夏場なので気持ち良かったです。オホーツク海の眺望も申し分なし、名山ですね。

次は雌阿寒岳。9月中旬、ガスがかかって前はほとんど見えません。強風が吹き付け、雨も時々強くなる。寒くてしょうがない。頂上に着いても何も見えない。なんでこんなことをしているのか、情けなくなりました。ただ、冬のオンネトーから見た雌阿寒岳・阿寒富士は一日中眺めていても飽きません。

北海道はなんと大雪山。緑岳は別名、松浦岳です。松浦武二郎にちなんだ名前です。標高がなんと2020メートル、今年の西暦と一致します。紅葉真っ盛りで麓の温泉もよかったです。

そういえば北見市民憩いの仁頃山に登っていないなと思って急遽、登りました。野鳥の宝庫でウグイスが人慣れして逃げないのが面白かったです。

知床・羅臼岳は、アウトドア派からすればビッグネームです。冬場は人を寄せ付けない険しさに二の足を踏みますが、夏はまさにハイキング気分。ただし、ヒグマにはご用心。こうやってクマ鈴をつけてお守りにはクマスプレーを持参です。左はフードロッカーです。食べ物をテント内に置くとおいにつられてクマを呼び寄せてしまう。食料はなるべく金属製の頑丈なフードロッカーに保管しておく仕組みです。国内唯一の設備だそうです。この日はヒグマに遭遇することはありませんでした。オホーツク海も国後もしっかり見えました。

最後は先週末の大雪山です。層雲峡スタートで爆発火口をまわる「お鉢巡り」です。変化に富んだダイナミックな地形は「プラタモリ」にピッタリ。実はこの時、初めてヒグマを見ました。お鉢の底を見下ろした際に黒く動く物体を発見。ヒグマでした。あまりにも遠すぎて、スマホでは黒い点にしか見えませんでした。大雪は何と言っても高山植物です。(パワポで紹介) キバナジャコウチ、チングルマ、エゾノツガザクラとアオノツガザクラ、イワヒゲ、エゾタカネスマレ、コマクサ……。とても幸せな気分になりました。

大雪山で思い出したことがあります。2年前に新潟の山で出会った神奈川の70台の男性のことです。男性は頂上近くの雪渓でうずくまっていた。転倒して肋骨を骨折したと、あとでわかったのですが、その時は、声をかけようか、どうしようか、かなり迷った末に声をかけたんですね。痛み止めテープを貼って、薬を飲ませて、何とか歩けるというので、荷物を持ってアシストしながら下山しました。日曜日で病院もやってないし、帰りたいたいというので、車で新幹線の駅まで送り届けました。その男性が下山中にしきりに「大雪山は素晴らしい。お花畑は本当に素晴らしい。ぜひ行ってみてください」と繰り返すのをふと思い出したんです。その時は「大雪山は遠いので、多分、一生、行くことはないよな」と思っていました。でもこうやって実際に北海道に赴任して大雪山に登ったことで、男性の言葉が蘇りました。些細なことですが、何かと何かがつながったときはうれしいですね。同時にあのとき、声をかけてよかったなと思いました。

コロナ禍の「ステイホーム」の只中、私は学生時代の友人のすすめでよくラジオを聴いていました。聞き逃しサービスで、村上春樹さんの番組に耳を傾けていたら彼がこんなことを話していました。「思い出って大事ですね。もし思い出がなかったら、人生なんてかさかさの砂漠みたいなものです。みなさんもいっぱい思い出を増やしてください。歳を取ってからずいぶん役に立ちますよ」。コロナ禍の中で、自分にとっては一番、心に沁みた言葉です。

何のために登山を続けているのか、正直、自分でもよくわかっていません。仕事ではないですが、趣味なのかもよくわからない。自然に登りたくなるという感じです。もしかすると思いのために登っているのかなと思うこともあります。しばらくは登山と自分の良い関係が続きそうな気がしています。

コロナ禍で「胸突き八丁」の急登が続きますが、皆さまの健康を祈念して卓話を終了します。

国際大会ハワイ大会に登録しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で大会自体が中止となり、3/21北見にて登録者で開催しました。



出席報告 田巻出席委員長

出席報告	例会日	会員総数	出席免除	総出席計算数	例会出席免除者	事前メークアップ	事後メークアップ	確定計算出席数	出席率
計算式		A	B	C	D	E	F	C+E+F	$\frac{C+E+F}{A+B} \times 100$
本日	7/22	61	7	48	2	-	-	-	85.71%

【次回8月19日】 グループ談議【2】 「『何もない』盛夏をどう過ごした？」

編集後記 暑い日が続きますが体調管理には気を付けましょう。(K.N)

2020～2021年度 北見R.C.活動方針

ロータリーの上質を目指しましょう

2020～2021年度 北見RC

●会長/岡村 金司

●幹事/小池 康幸

●週報編集/川上 明人

出席とは

会員は例会に出席しなければなりません。理事会が正当且つ十分な理由があると認めない限り、次のような場合は自動的に終結します。(a)例会に連続4回出席もメークアップもしていない場合 (b)会計年度の前半及び後半の6か月間メークアップを含む出席率が50%に達しない場合 (c)会計年度の前半及び後半のそれぞれ6か月間に開かれた例会総数の内少なくともその30%に出席していない場合